

臨床病理論10

火曜4限

生体防御(2)

医療経営学科

研究室 7階 第5研究室

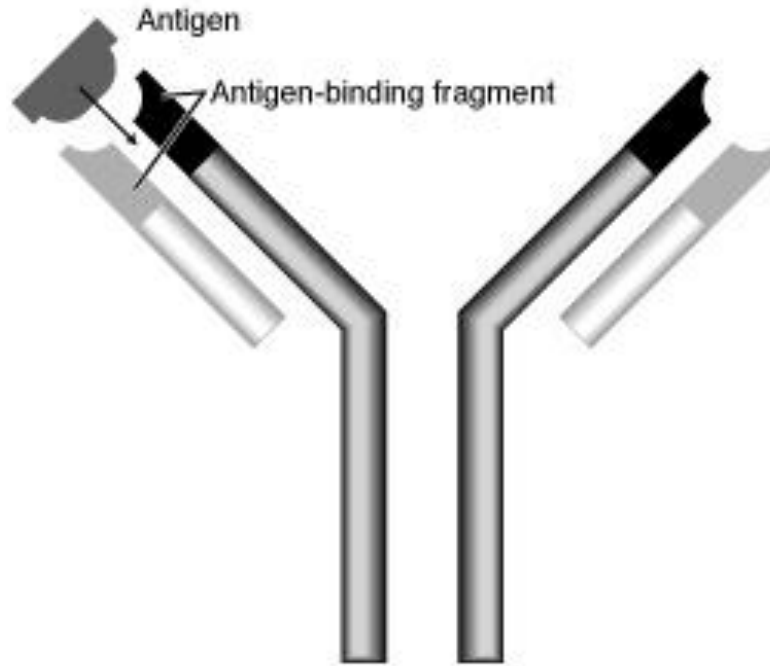
江原 朗

液性免疫

- 免疫グロブリン
 - IgG
 - IgA
 - IgM
 - IgE
 - IgD
- V鎖とC鎖がある

IgGの基本構造

Antigens



Antibody

免疫に関与する因子

- サイトカイン:リンパ球やマクロファージを活性化する因子
- 補体:血清タンパクで殺菌、溶菌、細胞破壊を担当
 - 主経路
 - 副経路で活性化される。

アレルギー

- I 型 (アナフィラキシー型) : 花粉症、喘息、食物アレルギー、じんましん
- II 型 (細胞障害型) : 補体や抗体における細胞障害 (不適合輸血など)
- V 型 (刺激型) : 抗レセプター抗体の阻害、刺激 (バセドウ病など)
- III 型 (免疫複合体型) : SLE、リウマチ
- IV 型 (T細胞依存型) : ツベルクリン、接触性皮膚炎

臓器移植と拒絶反応

- 人白血球抗原 (HLA) の一致が必要
- 拒絶反応: HLA が一致しないと移植臓器が脱落
- 拒絶反応の防止: 免疫抑制剤が使われるが、日和見感染の危険

自己免疫疾患

- 正常：自己トレランス（自分に対して抗体を作らない）
- 自己免疫疾患：自己の成分に対して抗体産生
- 自己免疫疾患の例：膠原病（SLE）、限局性疾患（橋本病）など

自己免疫と自己抗体

- SLE: 抗核抗体、抗血小板抗体
- 慢性関節リウマチ: リウマトイド因子
- 橋本病: 抗サイロイド抗体、
抗ミクロゾーム抗体
- 重症筋無力症: 抗アセチルコリン抗体、
- 自己免疫性溶血性貧血: 抗赤血球抗体
- 原発性胆汁性肝硬変: 抗ミトコンドリア抗体

免疫不全(1)

- 先天性免疫不全症候群
- 後天性免疫不全症候群(AIDS)
 - 感染源:血液、精液、膾分泌物
 - 感染:血液、性交涉、
母子垂直感染

免疫不全(2)

- AIDSの症状:リンパ節腫脹、
発熱、下痢、体重減少
- 日和見感染:カンジダ症、
カリニ肺炎、
サイトメガロウィルス感染
カポジ肉腫、
トキソプラズマ脳症